

柴戸 愛香さん（14期生）

現在：シンガーソングライター



現在、シンガーソングライターの柴戸さんに、映画『今日も明日も負け犬。』のDVDが完成したと、DVD寄贈のため来校された際、インタビューさせていただきました。柴戸さんは、この映画の主題歌『君のとなりで。』を歌っていらっしゃいます。

「歌を歌っていこう！」と人生の舵を切ったきっかけは、本校で軽音楽同好会に入って、歌を歌い始めたことだったそうです。中学校まで卓球部に入り卓球に打ち込んできたけれど、高校に入って路線変更したことがきっかけとなり、現在の道へ繋がっているという意味では、高校生活が将来に大きな影響を与えていると言えます。もともと、歌うことは好きだったのですが、全く思い描いていなかった道だったと伺い、部活動の選択が人生に与える影響を考えさせられました。

卒業後も歌うことをやっていこうと、彼女を動かしたものは何だったのだろうか？と尋ねたところ、「私が歌っているのを聞くのが好きとってもらえたから」と答えが返ってきました。その思いを抱いたのは、高校1年の時。そこから、音楽に関する様々な科目を選択して高校での学びを作り、本校卒業後は、歌唱技術を高めるために専門学校へ進学したそうです。

そして、映画の主題歌を歌うことになったきっかけは、趣味でカメラをしている友達からSNSで主題歌を歌う人の募集について聞き、高校3年生の夏に応募したこと。レコーディングを行ったことも全て、高校生の時の話でした。卒業するまで、彼女は映画の主題歌を歌うことが決まったことなど秘めていたそうで、新聞等で映画公開が発表されて、職員室では驚嘆したと当時を振り返った言葉もいただきました。

映画の主題歌『君のとなりで。』を歌ったことで、見知らぬ人が自分の歌に涙を流して聞いてくれた体験をして、自分の言葉で人を励ませる自分の歌を作りたいと、いろんな体験を通して感じたことなどを記録しているそうです。ゆくゆくは、悩み壁にぶつかっている人を励ませるような歌詞を届けていく活動をしていきたいと語ってくれました

同じように歌の道を進みたいと思っている高校生にアドバイスをするとしたら、何を伝えますか？と質問をしたところ、オーディションを見つけたり、いろんなジャンルに挑戦したりできても、「基礎」ができていないとその後繋がっていかないので、基礎を身に付けること、そして、様々な体験をしたときに、その時しか感じられない感情をメモしておくことなどをあげてくれました。

「基礎」って何ですか？と伺うと、リズムや音が取れること、自分の声を作っていくことと教えてくれました。本校でのどんな授業が役立ちましたか？と例えば、在校生にとってはよかったかもしれません。

インタビューの中で、「歌を歌う生業につきたいと決めたら他は考えられない」という強い意志が感じられるところに、本校の校歌の歌詞を想沸させられ、福岡講倫館生らしい逞しさを感じました。映画の主題歌を歌った経験は自信に繋がったと、これからの展望を聞かせていただきました。

ますますのご活躍をお祈り申し上げます。